

まちがいさがし クイズ



問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え
(右の絵に○をつける)と②住所・
③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤
電話番号・⑥広報紙の感想・ご
意見を書いて応募してください。
なお、当選者のお名前を広報がま
ごおり12月号に掲載しますので、
ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66・1190

応募締切

10月19日(水)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で
10人の方にクオカードもしくは
ラグーナの湯無料利用券をプレゼ
ントします。なお、賞品は12月初
旬に郵送します。



「貧乏山」(西迫町)

江戸時代中期の1782年から88年の
天明年間には異常気象が続き、全国で農作
物が実らず、多くの人が亡くなった。天
明の大飢饉だ。浅間山の噴火、アイルラ
ンドのラキ火山の巨大噴火の影響と言
われている。最もひどい被害を受けたの
は東北地方だったが、全国でも飢餓や疫
病が広がった。記録はないが、蒲郡でも
相当な被害があったはずだ。

現在の塩津地区、西迫(にしは)村。名
主や百姓代など町役人たちが集まって話
し合っている。「今年には米も稗(ひえ)も取
れない。このままでは年貢も納められな
いどころか、家計が成り立たない。貧乏
山の出入りを領主様(ご主人様)にお願いしよう」。

貧乏山は西迫村の東北から竹谷村大久
古までに連なっている小高い山。貧しい
家庭は、この山の雑木を切り、薪(まき)
や炭にして、町で売りさばき、生活の糧
にすることが許されていた。急病や事故
で一家の大黒柱を失ったり、干ばつ、大
雨、洪水などの災害の被害を受け、生活
が苦しくなった家庭を救おうという慣習
が、この地域にはあった。

ある時、「貧乏山」という名前が恥ずかし
いという子どもがいた。親は、「一生懸
命まじめに働いても、生活が豊かになら
ないときもある。それは仕方ないことだ。
だから貧乏は恥ずかしいことじゃない」と
諭した。

現在の言葉で言えば、貧乏山は里山だ
ろう。普段から地域住民が大切に守って
きたからこそ、非常時に活用できた。地
元の人たちは今でも貧乏山のことを誇り
に思っているという。

8月号クイズまちがいさがし(紅
さしたに)の当選者

応募総数48通

正解者45人

当選者敬称略・50音順

- 三谷町 河合由美子
 - 豊岡町 佐々木正庫
 - 三谷町 篠川陽菜乃
 - 府相町 須野原のり子
 - 神ノ郷町 林 保男
 - 港町 東山紗野
 - 神明町 平野正子
 - 西浦町 森 幸子
 - 三谷町 守田只司
 - 金平町 吉見圭市
- おめでとうございます。賞品
は10月初旬に発送します。

◆8月号の答え

